

2024年1月19日



2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

東京製鐵株式会社
(東証プライム：5423)

1

2024年3月期 第3四半期 決算報告

2024年3月期第3四半期実績総括

- ・2023年10月20日公表の通期業績予想を上回る進捗率で着地。
- ・第3四半期累計期間では、製品出荷数量が計画を下回ったものの、出荷価格は想定通りに推移し、エネルギーコストなど各種資材の購入単価の低減が続いた。

(億円)	2023年3月期			2024年3月期					
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q 累計	通期計画 (10/20 公表)	進捗率
売上高	906	877	940	1,027	863	874	2,766	3,690	75.0%
営業利益	72	134	125	122	92	86	301	365	82.6%
経常利益	78	136	127	129	95	88	313	375	83.7%
当期純利益	68	118	108	88	67	65	221	245	90.4%

製品出荷量の推移

製品	FY21.3Q 累計期間	FY22.3Q 累計期間	FY23.3Q 累計期間
国内 (千トン)	1,473	1,887	1,847
販売単価 (千円)	94.2	117.2	114.7
輸出 (千トン)	474	453	598
販売単価 (千円)	98.2	102.0	95.3
合計 (千トン)	1,947	2,341	2,446
販売単価 (千円)	95.2	114.3	110.0
粗鋼生産量 (千トン)	2,276	2,571	2,702
鋼材生産高 (千トン)	2,078	2,369	2,504

(千トン)

1,800

製品の輸出比率および品種構成

1,500

1,200

900

600

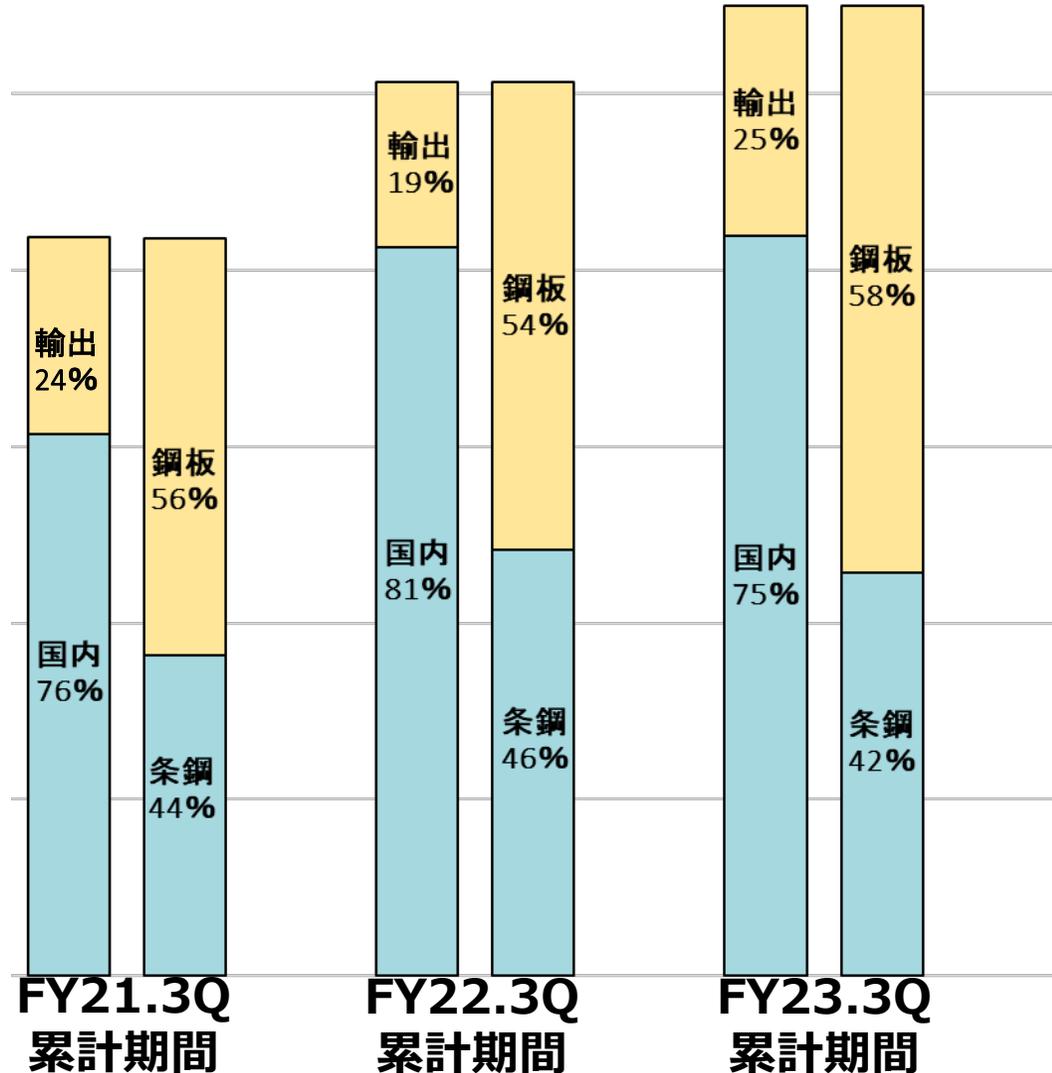
300

0

FY21.3Q
累計期間

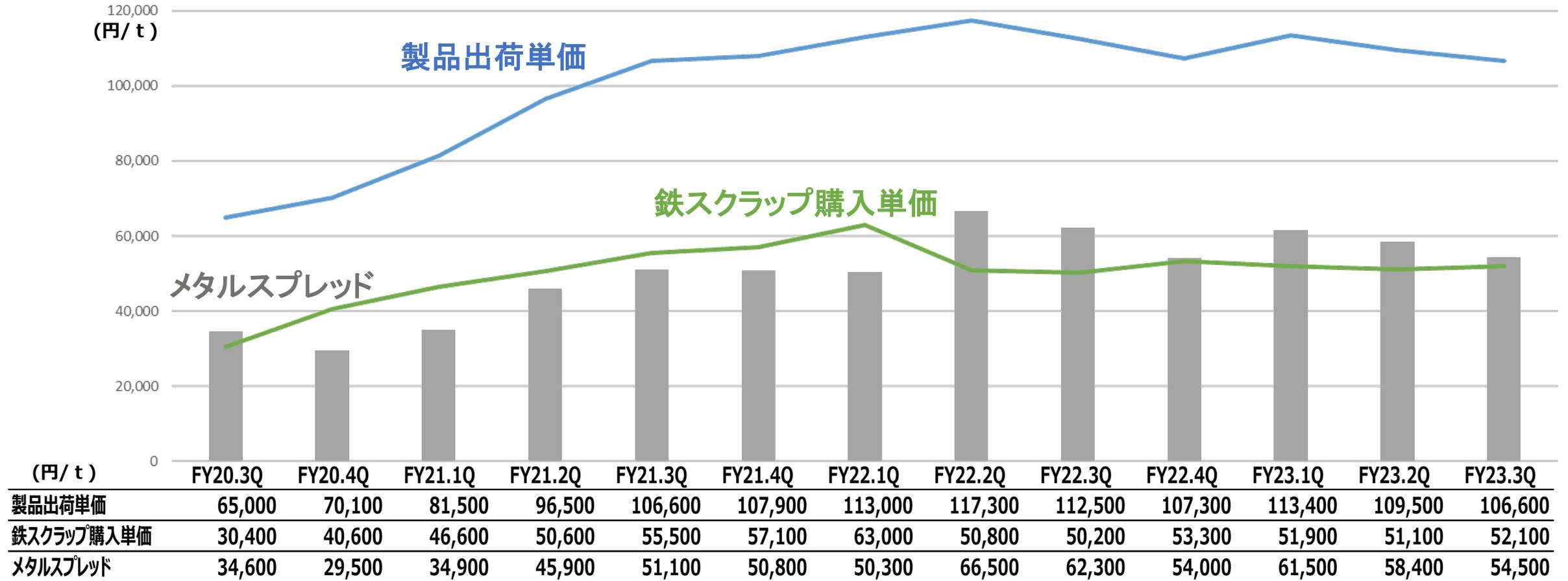
FY22.3Q
累計期間

FY23.3Q
累計期間



製品出荷単価・鉄スクラップ購入単価・メタルスプレッドの推移

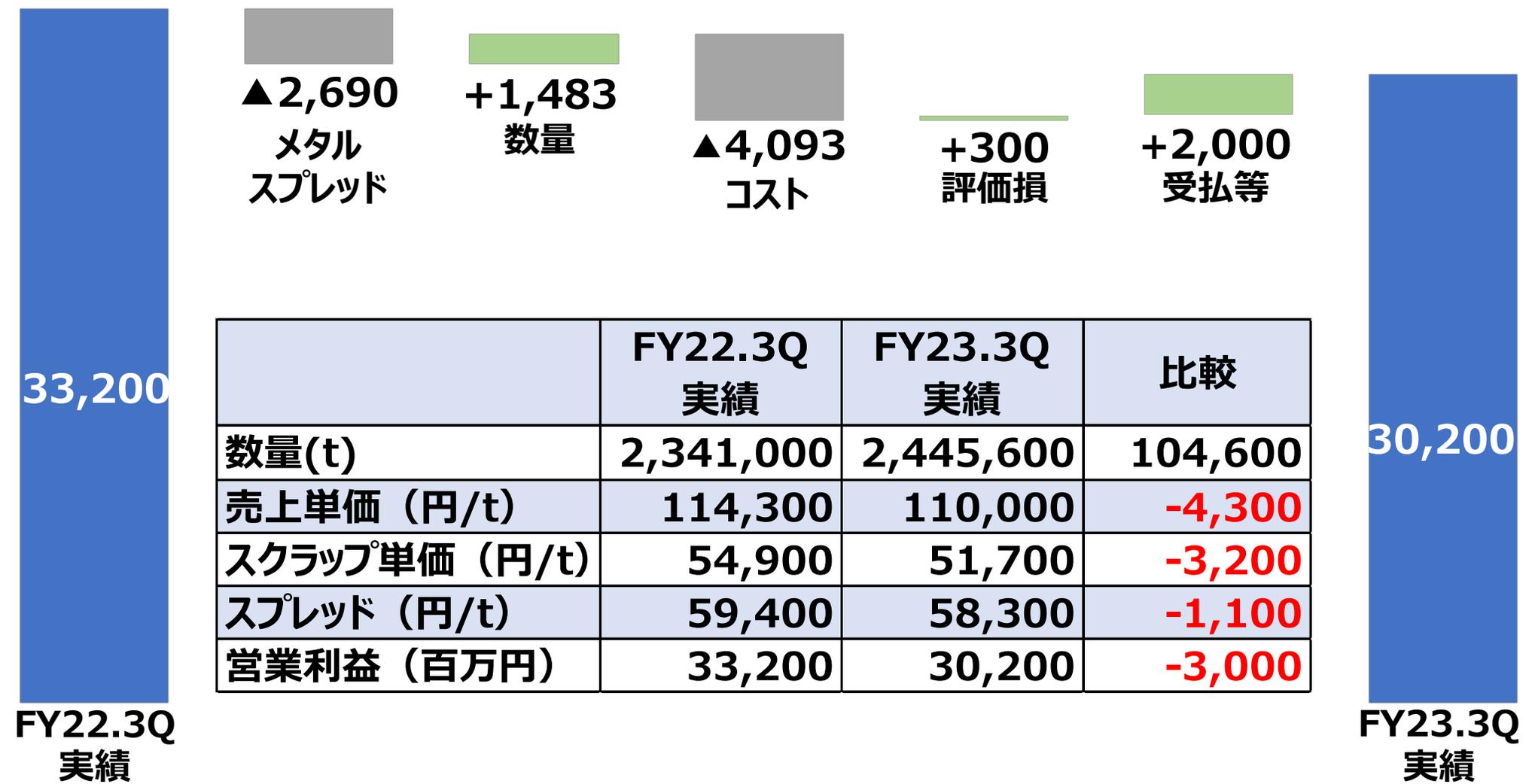
・当第3四半期では、前期比で製品出荷単価が低下し、鉄スクラップ購入単価が上昇した結果、メタルスプレッドは、約4,000円/tの悪化となった。



※鉄スクラップ購入単価とは、該当の四半期において使用した鉄スクラップの平均購入単価を指します。

営業利益増減要因

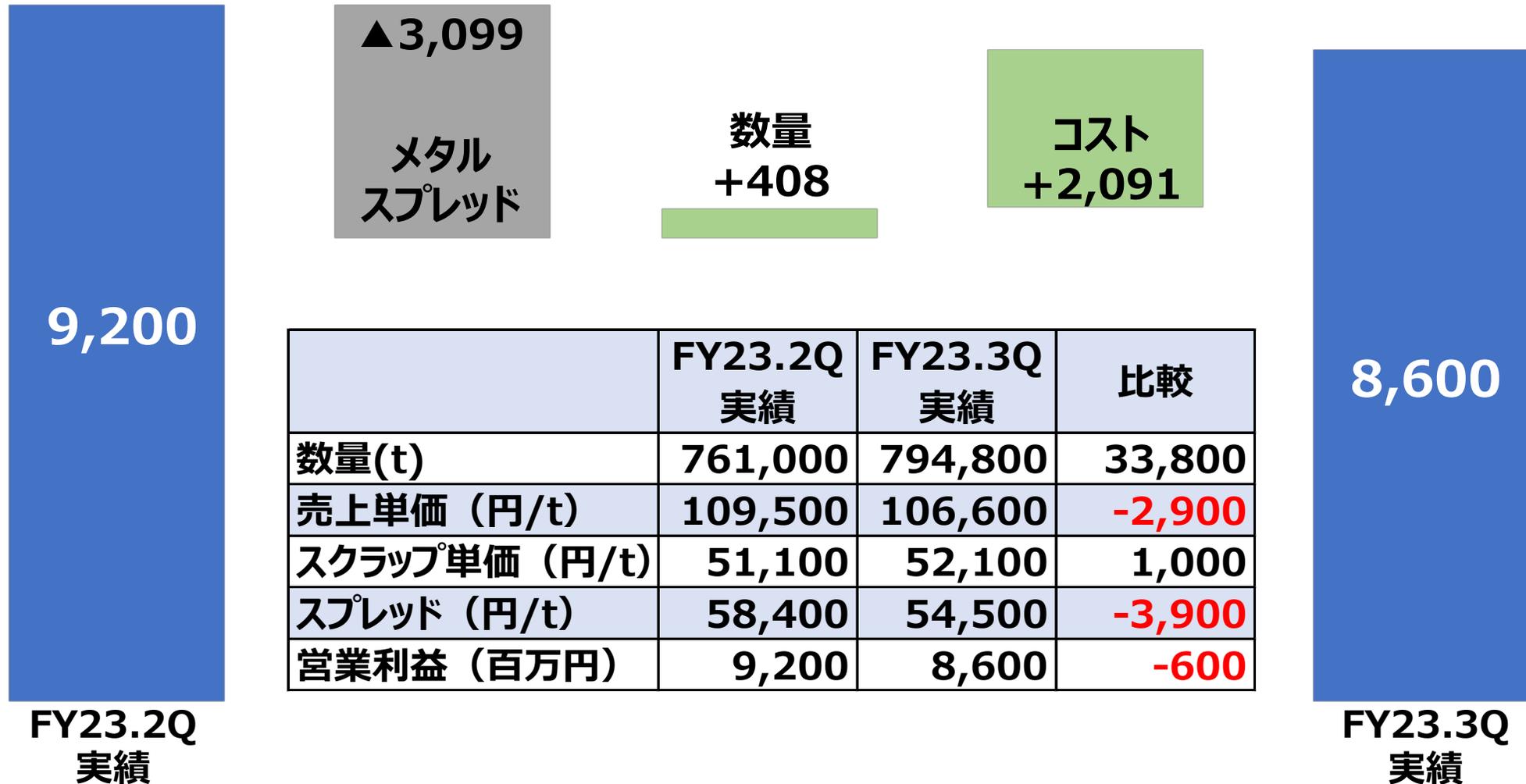
2023年3月期3Q累計期間(実績)→2024年3月期3Q累計期間(実績)
 (百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



営業利益増減要因

2024年3月期2Q(実績)→2024年3月期3Q(実績)

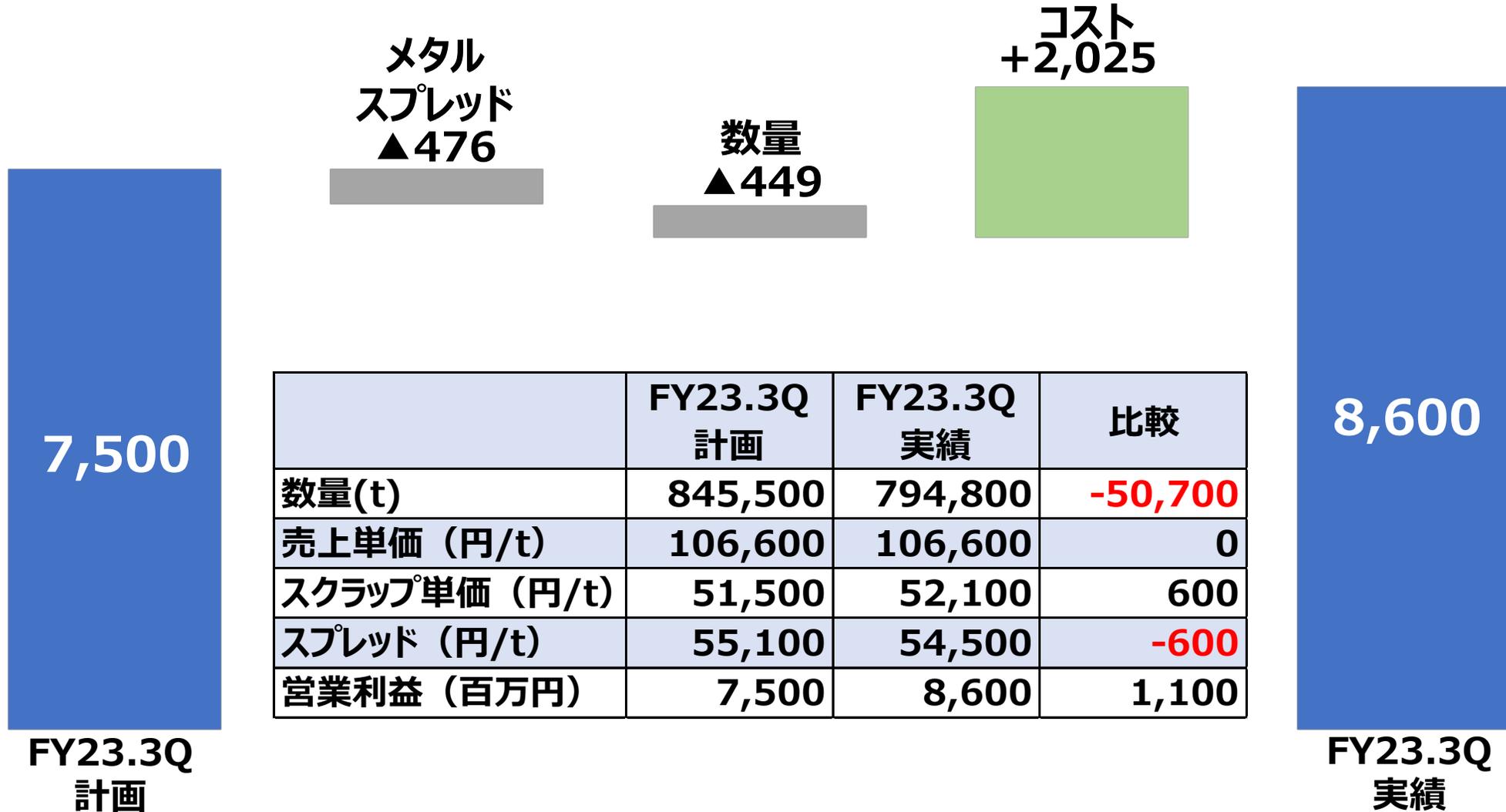
(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



営業利益増減要因

2024年3月期3Q(計画)→2024年3月期3Q(実績)

(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



2

2024年3月期 業績予想

2024年3月期 業績予想

・今後の見通しは、冬季修繕への対応や、「2024年問題」への対応としての輸送費などによるコスト上昇が懸念される状況。

・通期の利益予想は、第3四半期累計期間の業績を勘案し、2023年10月20日公表の予想から見直しを行った。

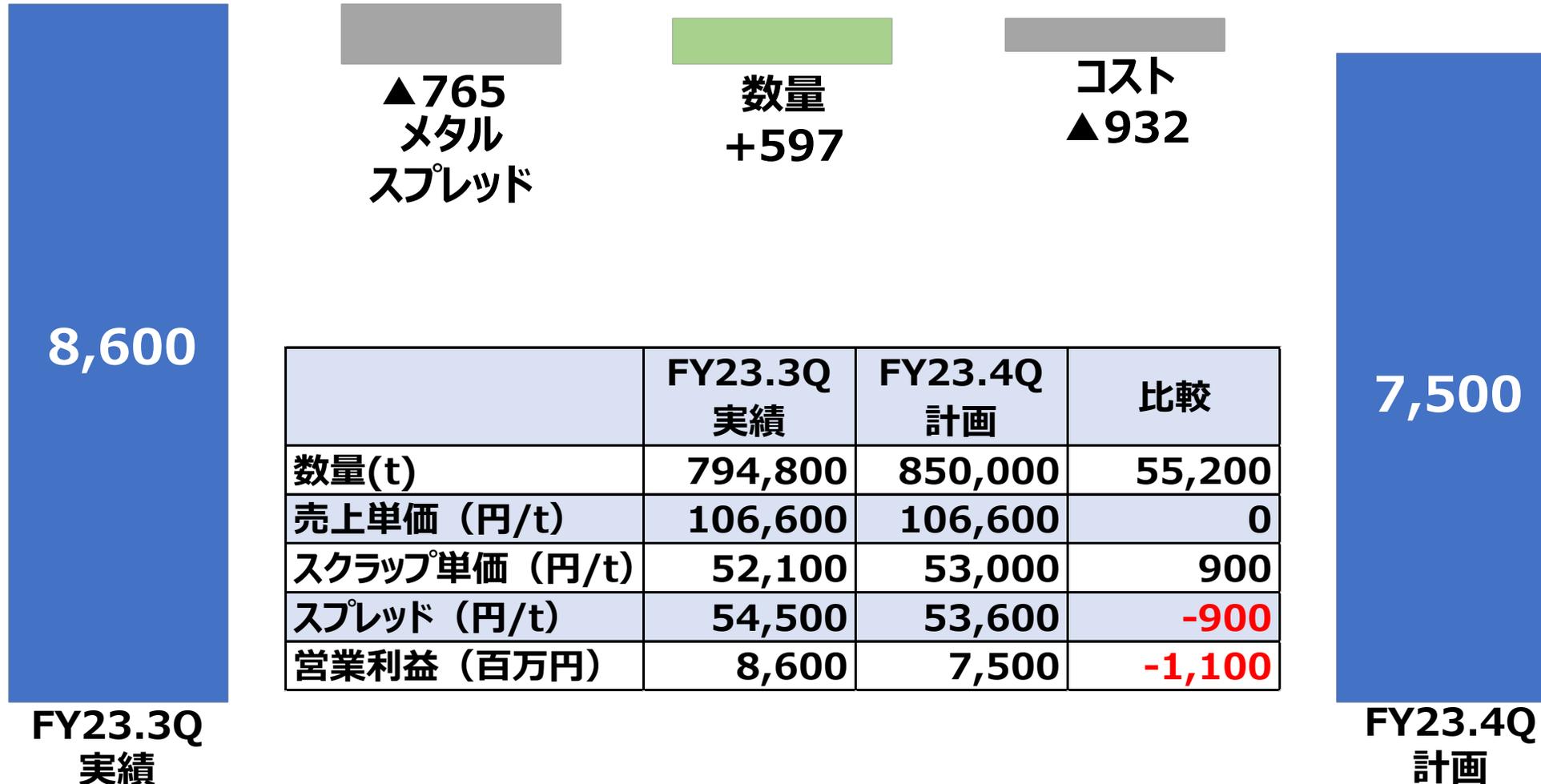
(億円)	2023年3月期実績			2024年3月期予想 (10/20見直)			2024年3月期予想 (1/19見直)		
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期
売上高	1,784	1,828	3,612	1,891	1,800	3,690	1,891	1,780	3,670
営業利益	206	174	380	215	150	365	215	160	375
経常利益	214	177	392	224	150	375	224	160	385
当期純利益	186	121	308	156	90	245	156	110	265

計画比で
赤字は増
青字は減

営業利益増減要因

2024年3月期3Q(実績)→2024年3月期4Q(計画)

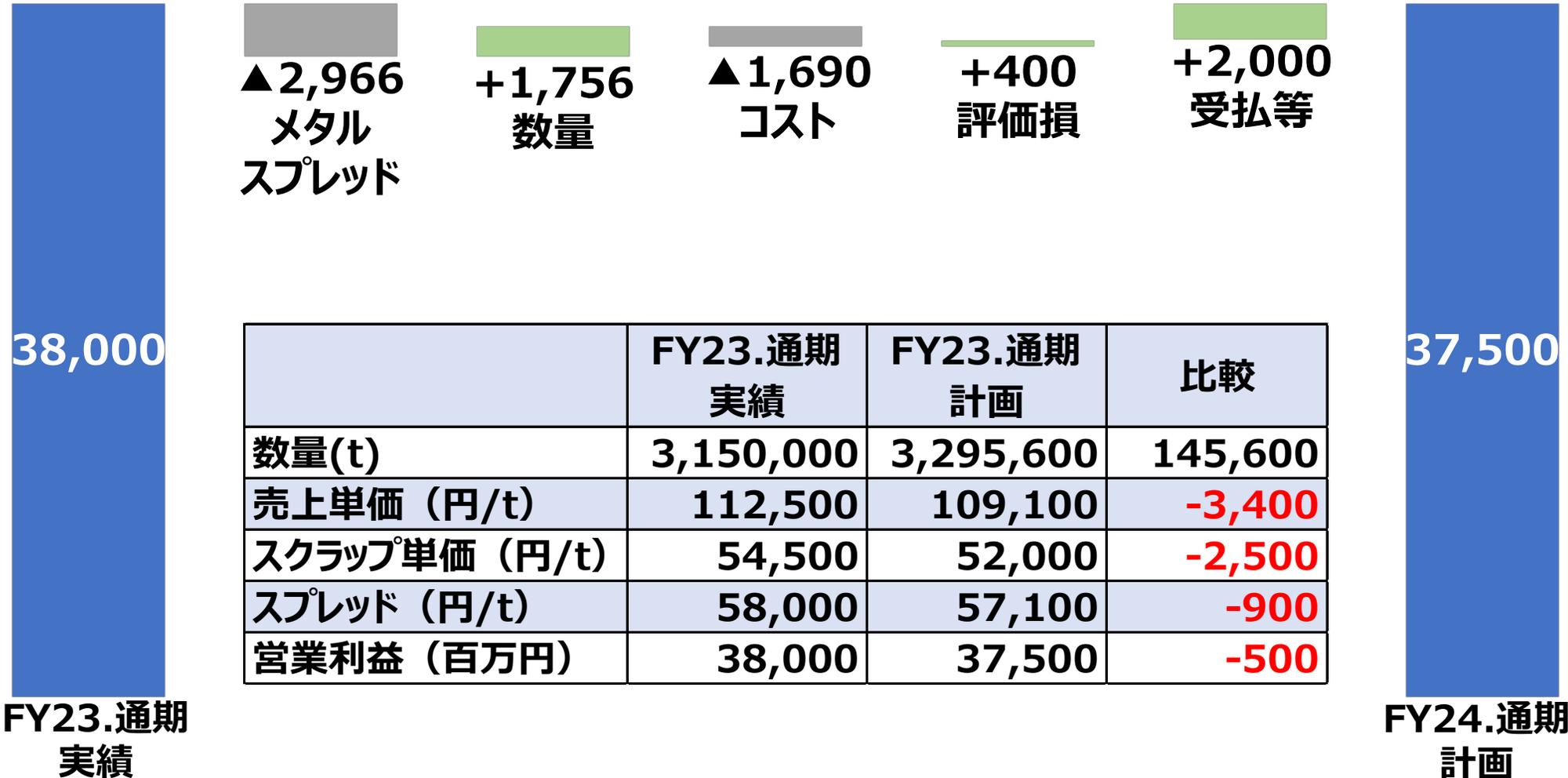
(百万円) ※実績の営業利益は数値を丸めています。



営業利益増減要因

2023年3月期通期実績→2024年3月期通期計画

(百万円) ※実績の営業利益は数値を丸めています。





参考情報

「関西サテライトヤード」の開設を決定

●2023年10月24日リリース

株式会社NEWSCONと連携し、兵庫県尼崎市に「関西サテライトヤード」の開設を決定。
2024年5-6月の運転開始を目指します。



※名古屋サテライトヤード

ベンチャーEVメーカー・FOMM社との協働

●2023年11月10日リリース
株式会社FOMM・三菱総研と共同で「アップサイクルカー完成記者会見」を実施。

ベンチャーEVメーカーである株式会社FOMMと協働しコンセプトカーを製造。小型EVである「FOMM ONE」の車体に、引張強度590MPaのハイテン材をはじめ、当社鋼材が約72%使用されました。



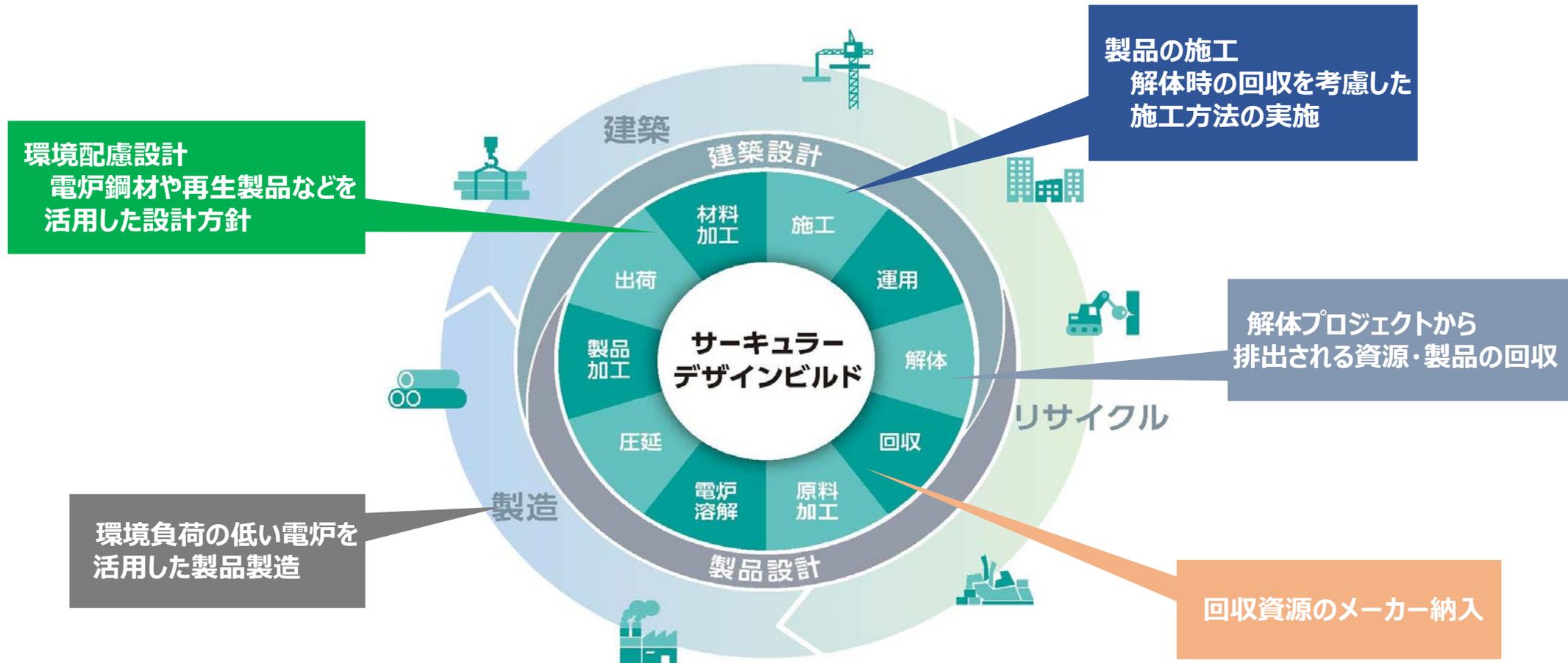
11/10に実施した記者会見の様相



大手ゼネコン・竹中工務店との協働

●2023年12月14日リリース

竹中工務店・巖本金属・岸和田製鋼・共英製鋼と協働し、業界の垣根を超えた「サーキュラーデザインビルド」を始動させました。





CARBON MINUS × UPCYCLING
EcoVision2050

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含みます。したがって、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。